

事例3 木製容器

吉田桶樽商店
http://www.oketaru-y.jp/



完成!



代表 吉田嘉男氏(写真右)
チーフマネージャー 吉田近氏(左)



本プロジェクトを機会に生まれたコラボ商品「福木樽」(ふくきたる)。木樽の中に五角形(ごかく=合格)の和紙メモが入っている

樽製品の製造風景。工場内は木の香りで満たされている

吉田桶樽商店は、漬物販売の際の容器など、木製の樽や桶を製造している。吉田近氏は、ホームページに取り組みうと勉強を始めていたが、時間や資金の問題でまだ実現していなかった。

「みんなのビジネスオンライン」とアドバイザーの存在でこの課題がクリアされ、昨年10月にホームページを開くことになった。

「最終消費者へのアンケートでは、木の器を好む方が多いとわかりました。こうした情報を積極的に掲載し、ニーズをアピールしていきたい。また印刷費をかせずに会社案内ができるのもいいですね」と吉田氏は笑顔で語る。

新たな顧客との出会いへホームページが大活躍することを期待したい。



福井県小浜市 今こそホームページ

小規模企業
× 中小企業支援ネットワーク強化事業
× ホームページ作成支援プロジェクト



3月1日に行われた発表会の様子
上) 事例発表をする吉田桶樽商店の吉田近氏
中) 「みんなのビジネスオンライン」ホームページでの紹介
下) 交流会の様子。こうした場で新しいビジネスチャンスも生まれている



事例1 民宿

若狭路の宿 民宿さわ
http://www.staysawa.jp/



宿の主人 澤佳太郎氏(写真左) 奥様の 澤佳●●氏(写真右)

完成!

「なぜホテルでなく民宿なのかと聞かれますが、お客さんと話すのが大好きで」と、本当に仲が良さそうに笑いあう澤夫妻。民宿さわは、部屋数11室のアットホームな民宿だ。ホームページは持つてはいしたが、リピータも多い宿なので直接予約は取らず宿の紹介程度だった。新しいホームページづくりで留意したのは写真。これまでは豊富な料理を一枚にまとめて掲載していたが、専門家のアドバイスを受けて素材の魚や料理一品ごとを、鮮度が伝わるように撮影した。

「民宿といっても、軽な部屋と海が見えるパストイレつきの部屋の両方を持つています。仕事で来られて気軽に泊まる方へのビジネスプランや、新しい女性のお客様にきていただくための案内に、ホームページを活用していきたい」と元気に話していた。

「専門店にアドバイスをいただけるのと興味を持ちました。以前のホームページは知り合いにお任せでしたから」洋菓子づくりの合間に感想を話してくれたのは志保重の清水社長。和菓子の看板メニューは200年の歴史を持つ酒まんじゅうや遠くから車を飛ばして食べに来る人がいるというくずまんじゅう。

「店の良さや歴史を見直すことを学びました。当社のシュークリームはラップでくるんでいるのですが、地元では当たり前の時代、といってもIT担当者がない企業や小規模企業にとつて、独自ドメイン(自社独自のホームページアドレス)を取得し、見栄えの良いホームページを作るのは、資金や技術、人手の点でまだまだ敷居が高いものだ。

「前のこうしたことでもWebで特色として出せると知りました」忙しくて更新する時間がとれないというものの、特徴となる点を積極的に打ち出していきたいとのことだ。

さらに、取り組みを通じて洋菓子など日持ちする菓子類のネット販売にも挑戦する意欲が湧いてきたという。



代表取締役 清水雅彦氏

完成!



事例2 和洋菓子

株式会社志保重
http://www.shihoju.jp/

ホームページを持つのは当たり前前の時代、といってもIT担当者がない企業や小規模企業にとつて、独自ドメイン(自社独自のホームページアドレス)を取得し、見栄えの良いホームページを作るのは、資金や技術、人手の点でまだまだ敷居が高いものだ。

「平成23年度中小企業支援ネットワーク強化事業」のアドバイザーが集中的にサポート。2012年3月には、サービス利用事例の第一号として成果が報告された。

3社を例にとり、完成したホームページと、ホームページ活用の意義や取り組みの感想を紹介する。「みんなのビジネスオンライン」をサポートできるITコーディネータも増加しているので、「ホームページを何とかしたい」と考える企業は、トライしてみたい。

サポーター紹介

平成23年度
中小企業支援ネットワーク強化事業(近畿)
福井県小浜地域で活躍したメンバー

- 上級アドバイザー(地域を回って課題を抽出し、専門家の派遣を判断する) 先織久恒氏(ITコーディネータ)
- 専門家
梶川昌文氏(ITコーディネータ)
宇田川静夫氏(ITコーディネータ)
横屋俊一氏(ITコーディネータ)
坂田守史氏(デザイナー)
藤田順一氏(プログラマー)

「みんなのビジネスオンライン」の使い方を専門家自らが学び、各社の事情に即して、コンテンツの配置や制作方法を指南した。

特筆すべきは、専門家の中にデザイナーやプログラマーといったメンバーが入っていること。Webサイトでは見た目の印象や写真の配置、写真そのものできばえなどが印象を左右する。

事業内容の分析やコンセプトづくりを得意とするITコーディネータと、サイト表現のノウハウを持つ専門家が多面的にサポートすることで、支援の幅を厚くしている。



写真:先織久恒氏